

宮陵会報

Kyu-Ryo

No.80

2005・7

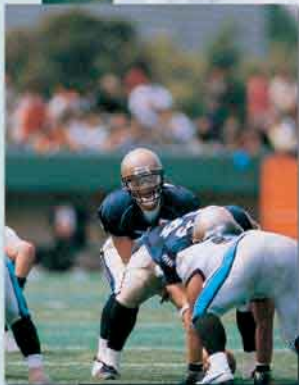
発行責任者
 社団法人 宮 陵 会
 広報委員会

〒221-0802
 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 神奈川大学内
 TEL 045-481-5661
 (内線 2451~3)
 FAX 045-413-0791
 印刷所 株式会社 江森印刷所

アメリカンフットボール第30回パールボウルのMVP選手
 オービックシーガルズ所属 (QB)
 龍村 学さん (2004年 法学部卒)

「No pain No gain」

凍るような寒い冬の日、冷たい雨の中、
 芯まで冷えていく体を感じて
 練習していたのを覚えています。



2005・第55回湘南ひらつか七夕まつりの織り姫
 2002ミス鎌倉にも選ばれた 現在舞踏研究部所属
 金子 純子さん (経済学部4年生)

「0と100は無い」

絶対なんてないと思うから、
 何事にもチャレンジできるんです。

平成一七年度 第一回代議員会・通常総会開催

第一回代議員会には、総数三八四名中二九八名(委任状一六一名を含む)、通常総会には正会員総数五八、九一八名中一、二七二名(委任状一、〇〇九名を含む)の出席のもと、いずれも成立要件を充足し、会議は始められた。まず、代議員会では、平成一六年度収支決算報告に関する件、平成一七年度補正予算に関する件、役員に関する件が諮られ、原案どおり可決・承認された。審議の中で、会員増にともなう通信運搬費の経費対策、広報費の積極活用、若年層の参加推進のための会員年代別の住所判明状況による分析、また、財政基盤の確立のための財源確保策、貸与奨学金の回収状況、見直し等々、活発な質疑応

答がなされ、原案どおり承認された。また、役員に関する件では、原案どおり承認された。同日開催の通常総会では、平成一六年度第二回代議員会、平成一七年度第一回代議員会で審議承認されたそれぞれの案件に加え、代議員の承認に関する件(平成一七・一八年度について)も、原案どおり可決・承認された。次いで現役員の任期満了に伴う次期役員候補者および代議員会正副議長の選任について役員選考委員会委員長の渡辺徳平が選挙経緯を説明の後候補者が提示され可決・承認された。この役員承認に伴い、総会は一時休憩に入り、その間に第一回理事会が開催され、

会長・副会長・専務理事の三役の選出、常任委員会委員長の選任、名誉役員委嘱ならびに相談役の委嘱を解く件が審議・承認された。休憩後に再開された総会において、第一回理事会で会長狩野七郎ほか副会長・専務理事が互選により選任されたことが報告された。最後に名誉役員に関する件を追加議案とする件が提案され、原案のとおり可決・承認された。全ての議案が終了し閉会とした。

新役員紹介の後、平成一七年度表彰が報告され、感謝表彰に加えて特別表彰がアテネオリンピック出場的女子サッカーの小野寺志保さんと矢野喬子さんに贈られることが発表された。次にご来賓の学校法人神奈川大学大野泰理事長からご挨拶があり、財政基盤の確立をめざして取り組んできた結果、平成一九年度には実質的な無借金経営になる見込みであり、一六年度の収支も企業でいう粗利益で

会長就任挨拶

会長 狩野 七郎

私は、五月二九日に開催されました社団法人宮陵会の平成一七年度通常総会において、会員皆さまのご推薦を受け会長に就任いたしました。社団法人宮陵会(以下「本会」という)における私の役員歴は二〇〇年程で、官房歴のないこともあって、大変唐突で驚いたのですが、光栄に存じお引き受けすることにしました。

固より、就任した以上は会務運営、会活動に最大限の努力をして、その重責を果たしたいと考えております。

さて、本会の事業目的は、「神奈川県立神奈川大学の進展とこれの維持後援を計る。」ことであります。ただいま大学の置かれている環境は誠に厳しいものがあります。規制緩和による競争の激化、第三者機関による大学評価の導入、

四〇億円ほどと何とか世間並みの経営となつてきている。ただし、大学を取り巻く環境はますます厳しくなり、第三者機関による大学評価も義務化され、選ばれる大学となることが勝ち残る大学といえる。母校が二一世紀において選ばれる大学となるよう、卒業生の皆様の一層のご支援をお願いしたいとご挨拶いたしました。

そして、神奈川県立神奈川大学山火正則学長からは、二〇〇六年度からの教育組織の改編と新学部学科の増設、学科名称の変更などにより、更なる受験者層の拡大と女子学生に魅力ある学部とすること。また、第二部の廃止を補う法・経済学部の昼夜間教育制度の新設など、本学の創立の理念に基づいた改革・発展のため、教学組織の改編を執行していくこと、そして課外活動にも積極的に支援していくことなど力強く方針が述べられた。

そして「大学全入時代」の到来等々です。本会がこうしたことを踏まえて、大学に対して何が出来る、何をしなければならぬかを明確にして、実行していかなければなりません。

重要課題三点に限って申し上げますと、第一に財政基盤の確立です。幸いにもこれまで理事会内に特別委員会を発足させて、鋭意継続的に検討した結果、中間答申が出ております。これに基づいた改革案を実行に移す時期と認識しております。

第二は組織の改革です。その一つが「社団法人」問題です。もう一つが現在の支部のあり方です。とりわけ地域支部の活性化と、そのブロック会議の完全設置が、喫緊の課題となっております。

第三は時代に即応した定款等の見直しです。小委員会において、継続して審議されてきておりますが、未だ結論が出ておりません。役員一同の協力を得て、これらの実現を目指します。どうか会員皆様の絶大なるご支援

- 1. 財政基盤の確立
- 2. 組織の改革
支部を元気に!
- 3. 定款等の見直し



退任の挨拶

と、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。ご就任の挨拶とします。

前会長 渡辺 徳平



会員の皆様、お元氣のことと思います。この度、二期四年間の会長職を退くことができました。在任中賜

りましたご厚情に対し、厚く御礼申し上げます。ブロック会議の開催される地には努めて出席して参りました。数多くの先輩、同輩とめぐりあえたことを本当に嬉しく思っています。横浜の思い出や、大学の今日や将来を語り合い、嬉々としている姿に接し、感動を禁じ得ないことしばしばでした。又滞在中は、最後迄ご交誼を賜り、本当に有難うございました。

大学は全入時代を迎え、宮陵会も公益法人改革、税制改革の波に直面しています。宮陵会と会員が、母校の存続と発展のために寄与してきた過去の経緯を考えて、改革に対応して欲しいと思っています。幸い、宮陵会には、経済界、法律・会計の専門職、公務員等多様な方々が多数おられます。どうか、衆知を傾けてこれからの難局を乗り切って欲しいと思います。またお目にかかる日を楽しみにしています。

振り返って

前専務理事 武笠 健次

平成九年、専務理事に就任してから、あつという間の八年間でした。この間にお世話に

なり、ご協力、ご支援をいただいた全国の各支部関係者に、多くの同窓に、先ず厚くお礼を申し上げます。今日の神奈川大学ならびに宮陵会の発展は、本当に多くの卒業生のご理解とご支援のお蔭であり、こうした時期に、多くの方々とお会いがありましたことに、心から感謝申し上げます。

昭和四三年の紛争以来、今日の発展の姿を誰が想像したでしょうか。さまざまな紆余曲折を経ながらこの約四〇年間、大学の規模、組織は大きく発展してきました。宮陵会もまた同じです。当時の同窓会は、七千余名の会員数でしかありませんでした。今日、一七万余名の全卒業生を会員として組織し、社団法人宮陵会として発展してきております。そこには、多くの本当に母校愛だけで、大学にまた宮陵会に、物心共に献身的に捧げてきた卒業生がいたことを忘れてはならないでしょう。

しかし、大学は一般的に多くの卒業生にとっては一歩離れて見る存在でした。これを変えたのは箱根駅伝でした。陸上の関係者にとっても第五〇回(昭和四九年)大会以来、連続一七年間という長い期間、予選を通過できず、箱根駅伝に出場できない辛い歳月がありました。それが第六八回(平成四年)大会で予選を通過してから、六年目の快挙で、七三・七四大会の連続優勝と、最高の金字塔を打ち立てたのです。これは、全国の卒業生に、また学生の課外活動にも大きなインパクトを与えました。同窓に、母校に対し、後輩の学生に熱い思いを起こさせ、関心を持たせた大きな偉業であることも忘れてはならないでしょう。

これが大変な時代に入ります。母校のために、学生のために、私共一人ひとり小さな存在ですが、熱い思いと組織を結集して支援をしていけば、きっと乗り越えていけると存じます。

役員・代議員会正副議長・委員長名簿

(平成17・18年度)

Table with 4 columns: Position, Term, Name, and Remarks. Includes roles like 会長, 副会長, 専務理事, 理事, 監事, 代議員会議長, etc.

平成17年度事業計画

- 1. 神奈川大学の進展と維持に必要な援助
(1) 大学公開講座の協賛
(2) ホームカミングデーの協賛
(3) 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
(4) 奨学金の給付及び貸与
(5) 特定奨学金の給付
(6) 特別給付奨学金の給付
(7) クラブ活動等援助及び講演会・スポーツ大会等の開催、体育の振興
(8) 卒業祝賀行事の共催
(9) 新入生へ記念品の贈呈(CD)
(10) 新卒業生へ記念品の贈呈(CD-ROM=大学と共催)
2. 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事項
(1) 会誌・会報の発行
(2) 会費納入の促進
(3) ブロック会、支部との連携並びにブロック会、支部の設立及び再建支援
(4) 全国支部長会議の開催
(5) 「神奈川大学校友VISAカード」の入会促進及び提携店拡大
(6) その他の目的達成に必要な事業

■ - 新任者

柔道部

春季大会 団体戦3位入賞!! 水島和正、堂々の優勝



我々、柔道部は5月5日に神奈川県立武道館で行われました神奈川県春季大会において団体戦3位入賞、個人戦では、水島和正の優勝を筆頭に多数の3位入賞という今後につながる結果を残すことができました。本大会は、団体戦を行った後に個人戦を行うことから、厳しい戦いが予想されましたが、団体戦では、1回戦防衛大学校に勝利し準決勝では桐蔭横浜大学に取れたものの、3位決定戦では関東学院大学に6-0で完勝、選手達はそのまま集中力を欠くことなく個人戦に臨むことができました。中でも水島選手は個人戦においても、日々の稽古の成果を遺憾なく発揮し決勝戦ではチームの力強い応援を受け、強豪桐蔭横浜大学を押さえて優勝を手にしました。この結果は部に多大な影響を与えてくれました。そして我々柔道部は、この夏、全日本学生選手権大会出場をさらなる目標とし、9月に行われる関東学生選手権大会に向けて日々の稽古を積んでいきたいと思ひます。応援のほどよろしくお願ひいたします。(柔道部主務 溝口慎一郎)

前期リーグ戦・第3位で折り返し!

サッカー部

今季より関東大学サッカーリーグ(2部)への昇格を果たした本学体育会サッカー部は、前期リーグ戦(全11節)を終了し、6勝4敗1分(得失点差+6)の第3位で終了した。



今季よりチーム数を増やした関東2部リーグの構成は、「2部リーグ残留4大学+都県リーグからの昇格8大学」の計12大学。新規参入が8大学でリーグ内での「力関係」が見えない中での開幕となったが、本学サッカー部は初昇格にもかかわらずスタートダッシュを決め、第4節までは首位をキープ。以降も第10節まで第2位をキープし、「強い神大」を見せつけた。後半戦は下位チームとの対戦を取りこぼすなど苦戦も味わったが、前期リーグ第3位という結果は初参入としては上々の出来であった。

リーグ戦は年間22試合(前期11試合・後期11試合)の長丁場で、後期リーグ戦は9月から開始。1部リーグへの昇格を果たすには、年間順位で上位2位までに入らなければならない(入替戦無しの自動昇格)。初めての関東リーグとはいえ、これから迎える夏にさらにチームの調子を上げ、貪欲に1部リーグへの昇格を狙っていききたい。(サッカー部副部長 高橋 厚)

女子サッカー部

創部5年目を迎え 大学女子サッカーの頂点を目指す



創部5年目を迎え徐々にではありますが、チーム組織・実力とも向上してきています。目標である大学日本一へ向け、練習はもとより、練習試合・強化合宿・遠征など精力的に活動しています。今年こそ、チーム一丸となり、精一杯努力し、大学女子サッカーの頂点を勝ち取りたいと思ひます。今後とも、女子サッカー部へのご指導、ご声援のほどよろしくお願ひいたします。(2004年度主な結果報告) 第13回全日本大学女子サッカー選手権大会3位 (2005年度結果報告) 関東女子サッカーリーグ(前期) 5勝1敗2位(7月4日現在)

陸上競技部

第37回全日本大学駅伝予選会 第1位で出場権獲得!! 関東学生陸上競技選手権大会 2部校第4位入賞



関東学生陸上競技選手権大会が5月12~15日の4日間で行われました。2部とはいえど、毎年レベルが上がっているため、厳しい戦いが予想されました。しかし、駅伝からは5人、短距離から2人とリレー1チームが入賞を果たし、42点で2部校第4位に入りました。その好調の流れを維持したまま挑んだのが、6月11日の第37回全日本大学駅伝予選会です。本戦への切符を手にするためには7位までに入ることが条件でしたが、参加校中8人の10,000m合計タイムは6位と、決して油断ができない状況でした。しかし、走る選手、サポートする選手、応援する短距離・中距離ブロックの部員の想いが一つになり、チーム一丸となり戦ったため、第1位で出場権を獲得することができました。無事に切符を得て安心した一方で、箱根駅伝の常連校の東海大や早大などが予選落ちをするなど、改めて勝負の厳しさを知った大会となり、気を引き締め直しました。駅伝ブロックは10月10日の出雲駅伝、11月6日の全日本大学駅伝、そして最大の目標である箱根駅伝に向けて、短距離ブロックは来年の関東学生陸上競技選手権大会に向けて、レベルアップをするために夏合宿に入ります。個人としてもチームとしても成長し、一回り大きくなり各大会に挑みますので、応援の程よろしくお願ひします。(陸上競技部マネージャー 縄 麻利江)

レスリング部 ジュニア・アジア・レスリング選手権大会「銅メダル」



6月6日~10日まで韓国・済州島にて行われたジュニア・アジア・レスリング選手権大会にグレコローマンスタイル55kg級日本代表として出場してきました。「優勝」という二文字を胸に乗り込みましたが、初の海外での公式戦ということで大変緊張しました。しかし、韓国の気候は日本と変わらず時差もないためとても過ごしやすく、体調は万全で試合に望めました。初戦はベトナムと対戦し、得意の投げ技で5ポイントを取り、判定勝ちすることができました。順調に勝ち上がり、準決勝では韓国との対戦でした。韓国はホームとあって応援も大変盛り上がっていました。私も気合いを入れて全力で挑みましたが、結果は惨敗でした。どうしようもない悔しさがこみ上げてきましたが、すぐにインドとの3位決定戦があったので、気持ちを切り替えて作戦を練りました。インドの選手は体にとっても柔軟性があり、スタンド(立ち技)ではポイントを取ることは難しいと考え、グラウンド(寝技)で積極的にポイントを狙っていく作戦を立てました。この作戦が功を奏し判定勝ちすることができました。こうして銅メダルを獲得することができましたが、海外のレベルは高く自分の力量の無さを痛感しました。しかし、この結果をプラスの結果として受け止め、これからの試合や練習に生かしていきたいと思ひます。また、私の最終目標であるオリンピックを目指し、これからも日々精進していきますので、これからも応援をよろしくお願ひします。ありがとうございました。(国際経営学科2年 峯村 亮)

準会員 NEWS

水泳部

世界の舞台で「金」に輝け!! 種田恵! 第81回日本選手権水泳競技大会 女子200m平泳ぎ見事優勝!!



海外遠征に向かう前に学長と握手する種田さん

神大から世界の舞台に挑む選手がいます。水泳部所属の種田恵さん(経済学科1年)です。種田さんは世界選手権代表選考を兼ねた第81回日本選手権水泳競技大会・女子200m平泳ぎにおいて見事優勝を成し遂げました。同種目において実質上の「日本一」なのです。これにより7月24日から開催される第11回世界水泳選手権大会(カナダ・モントリオール)への出場を決めました。2歳より水泳を始め、現在に至るまで数々の大会で優勝してきましたが、社会人を含めた全日本クラスの大会での優勝は今回が初めてです。得意種目は200m平泳ぎ。部員たちが口を揃えて「気持ち強い選手」と言うっており、気持ちで後半に伸びていくのが特徴です。世界水泳選手権を前に、競泳日本代表が出場した6月のミッションビエホ国際大会(アメリカ・カリフォルニア州)では200m平泳ぎで優勝しています。7月の世界選手権の他に8月11日に開幕する第23回ユニバーシアード(トルコ・イズミール)への参加も決まっています。向大会において世界に「神大の種田」の強さを見せつけて来て欲しいと思ひます。種田さんが世界一になるよう熱い応援をよろしくお願ひします。

硬式野球部

暖かい御声援ありがとうございました。リーグ4連覇ならず 惜しくも優勝逃す...

春季リーグ戦は暖かい御声援ありがとうございました。一昨年秋季リーグ戦より3連覇を果たしており、4連覇の懸かった関東学院大との決勝戦でしたが、あと一歩のところまで力及ばず優勝を逃してしまいました。4年生の大半は春で引退し、バットをベンに持ち替え、就職活動に挑んでいます。引退した4年生の果たせなかった神宮出場の夢を、後輩たちが引き継ぎ、今日も泥まみれになりながらひたむきに練習に励んでいます。夏の練習も厳しいものになりそうですが、チームの雰囲気も良く、元気の良さと勢いで乗り越えていきます。この秋も全員野球で優勝、そして神宮出場を狙います。また、8月12日からは新人戦も始まります。我が部の誇る元気いっぱい若手が大暴れいたしますので、こちらも是非ご声援よろしくお願ひします。この秋は必ず優勝を果たし、私も含め4年生は、最後は笑って4年間過ごした硬式野球部を後にしたいと思います。今まで支えて下さった周りの方々に感謝し一戦一戦を大切に戦って参ります。今後ともご支援ご声援の程、よろしくお願ひします。



(硬式野球部マネージャー 村松 泉美)

個人情報の取り扱いについて

社団法人宮陵会(神奈川大学校友会)では、個人情報は慎重に取扱い、厳重かつ適正に管理を行っています。

卒業生の個人情報は、神奈川大学または本会からの通信物の発送・告知等、支部総会・クラス会等の校友会活動、及び本会の運営に必要な業務に使用いたします。

なお、卒業生名簿の作成及び頒布につきましては、現在は行っておりません。住所等の変更は、下記まで郵便かFAXにてその旨ご連絡をお願いいたします。

社団法人宮陵会(神奈川大学校友会)事務局
〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
FAX: 045-413-0791

第17回 平塚祭

10月29日(土) 30日(日)

『楽。』

～楽しくなければ祭りじゃぬ!!～
このコンセプトには、
神奈川大学・湘南ひらつかキャンパスの
公式行事である「平塚祭」をご来場の
地域の方々ならびに学生達に
心から楽しんでもらいたいという
思いがこめられています。

第7回

神大フェスタ

11月5日(土)6日(日)

「Love JINDAI?」

たくさんの人に神大を知ってもらいたい
もっと神大を見てもらいたい
もっと神大を感じてもらいたい
もっと神大に触れてもらいたい
もっと愛される大学に
神大フェスタが
そのきっかけになったらいいなあ

課外活動大会予定

- 卓球部 ◆ 第75回全日本大学対抗卓球選手権大会
2005年8月4日～7日 横浜文化体育館
平塚軟式野球部 ◆ 第28回全日本大学軟式野球選手権大会
2005年8月13日～17日 埼玉県宮大宮公園野球場 他
吹奏楽部 ◆ 神奈川県吹奏楽コンクール
2005年8月8日 川崎市教育文化会館
東関東吹奏楽コンクール
2005年9月11日 宇都宮市文化会館
準硬式野球部 ◆ 清瀬杯第37回全日本大学選抜準硬式野球大会
2005年8月27日～31日
予備日 9月1日、2日
石川県立野球場、金沢市民野球場
体操部 ◆ 第59回全日本学生体操競技選手権大会
8月31日～9月2日 愛知・小牧市総合体育館
レスリング部 ◆ 全日本学生レスリング選手権大会
8月29日～9月1日 駒沢体育館
全日本大学王座決定戦 9月16日 駒沢体育館
水泳部 ◆ 第81回日本学生選手権水泳競技大会
9月2日～4日 大阪・門真市なみはやドーム
第11回世界選手権大会
7月24～31日 カナダ・モントリオール
第23回ユニバーシアード
8月11日～21日 トルコ・イズミール
陸上競技部 ◆ 第17回出雲全日本大学選抜駅伝競走
10月10日 出雲大社～出雲ドーム
秩父宮賜杯第37回全日本大学駅伝対校選手権大会
11月6日 熱田神宮～伊勢神宮

ホームカミングデー
開催のお知らせ

【第11回ホームカミングデー】

■期日 平成17年10月16日(日)

■時間 十二時より

■場所 神奈川大学横浜キャンパス 体育館

卒業生と母校の絆を深め、卒業生相互のネットワークを広げ、本学のさらなる発展に資することを目的として開催される神奈川大学ホームカミングデーは、今年第11回を迎えることになりました。母校を訪れていただくための、年一回の催しです。この日に合わせて所属していたクラブ、同好会ゼミ、研究室それぞれなつかしいお仲間にお

会いできることでしょうか。
あの頃、あそこにあった建物やお店は、
ないかもしれません。今でも神大に来れば誰かに会える！そんな感覚でお待ちしておりますと考えるとあります。
今年招待する方は、次のとおりです。

①昭和30年以前の卒業生

②昭和45年の卒業生

③昭和60年の卒業生

④平成7年の卒業生

⑤平成17年の卒業生

右記の皆様には、9月上旬に招待状を送いたします。右記以外の卒業の方も参加できます。
参加希望の方は、はがき、電話、FAXのいずれかの方法で下記事務局までお申し込みください。(参加費無料)

ホームカミングデー実施事務局

【第13回湘南ひらつかキャンパスホームカミングデー】

■期日 平成17年10月30日(日)

■時間 12時30分より

■場所 湘南ひらつかキャンパス 厚生棟 第二食堂

ホームカミングデー実行委員会
〒259-1293 平塚市土屋2946

神奈川大学湘南ひらつかキャンパス事務部

TEL 〇四六三一五九一四二一(代)

FAX 〇四六三一五八一九六八八

Kyu-Ryo NO.54 訂正について

Kyu-Ryo NO.54に誤りがありましたので、次のように訂正させていただきます。関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

- P 3 下段 「2006年度神奈川大学教学組織」
工学部 情報システム創生学科⇒情報システム創成学科
P 9 2005(平成17)年度 神奈川大学入学試験結果
2段目 52.8% ⇒ 5.28%

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学総務部総務課

TEL 〇四五-四八一-五六六一(代)

FAX 〇四五-四九一-七九一五

◆◆ 本部だより ◆◆

【新支部長紹介】(本部届出順)

大田区役所支部

藤田 正人 (48建)

岡山支部

安東 達雄 (45経)

保土ヶ谷・旭区支部

矢野 達夫 (31法)

協同電気支部

伊藤 博 (46法)

神奈川大学アメリカンフットボール部

OB会支部

手塚 正 (60英)

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

田口世志男 殿 (46法)

大阪支部事務局長

平成17年1月23日(逝去)

松村 裕一 殿 (23経)

元神奈川大学評議員・事務職員・本会代議員

平成17年2月14日(逝去)

三浦 義雄 殿

工学部非常勤講師

平成17年4月8日(逝去)

岩越 浩司 殿 (43経)

奈良支部副支部長(支部長代行)

平成17年4月11日(逝去)

宮島 泉 殿

法学部非常勤講師

平成17年5月13日(逝去)

後藤 英一 殿

元理学部教授

平成17年6月12日(逝去)

松永 正久 殿 (16・12商)

福岡県南部支部支部長

平成17年6月14日(逝去)

間山 實郎 殿 (9貿)

元函館支部支部長

平成17年6月28日(逝去)

お詫びと訂正

誤りがありましたので訂正させていただきます。関係者の皆様には、大変ご迷惑をお掛け致しました。心よりお詫び申し上げます。

(誤)田口世志男 殿(46法) →田口世志男殿(46法)ご令室

平成17年度通常総会で表彰を受けた方々

特別表彰

- 小野寺 志保 (平8経卒) アテネオリンピック女子サッカー日本代表
- 矢野 喬子 (国際経営学科3年) アテネオリンピック女子サッカー日本代表

感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)

本部関係

- 須佐 尚道 (故人) (昭41賢卒) 元理事
- 岩越 浩司 (故人) (昭43経卒) 元理事(本部)・奈良支部副支部長

支部関係

- 宮崎 利道 (昭48法卒) 元福井支部支部長
- 一瀬 英彦 (昭30経卒) 元兵庫支部副支部長・幹事
- 長谷川 進一 (昭38経卒) 元防長宮陵会支部事務局長
- 松永 幸雄 (昭23工経卒) 元筑豊支部支部長・副支部長・理事
- 安達 好春 (昭31電卒) 元大分支部支部長・副支部長
- 半田 秀雄 (昭16.12商卒) 十六師走会支部副支部長
- 入江 淳太郎 (昭20電卒) 元みやも電華会支部支部長・副支部長 幹事
- 西山 茂樹 (昭35経卒) 元珊瑚の会副支部長
- 高島 泰弘 (昭37経卒) 元神大レスリング部OB会支部 副支部長・事務局長

平成16年度 決算報告(収支計算書)

(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)

平成17年度 予算(収支予算書)

(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

一般会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1. 収入の部			
受 取 利 息	1,000,000	849,644	150,356
正 会 員 会 費 収 入	6,000,000	3,075,000	2,925,000
準 会 員 会 費 収 入	94,000,000	106,455,000	△12,455,000
校 友 名 簿 頒 布 収 入	120,000	90,000	30,000
会 誌 広 告 料	700,000	290,000	410,000
そ の 他 収 入	500,000	344,982	155,018
当 期 収 入 合 計	102,320,000	111,104,626	△8,784,626
前 期 繰 越 収 支 差 額	60,559,264	60,559,264	0
収 入 合 計	162,879,264	171,663,890	△8,784,626
2. 支出の部			
大 学 主 催 事 業 協 賛 費	6,000,000	4,400,000	1,600,000
給 付 奨 学 金	11,000,000	11,000,000	0
特 別 給 付 奨 学 金	10,000,000	10,000,000	0
学 生 課 外 活 動 援 助 等 事 業 費	21,036,000	17,239,290	3,796,710
(ク ラ ブ 活 動 等 助 成 費)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
(特 別 事 業 費)	(3,055,000)	(2,209,608)	(845,392)
(体 育 振 興 費)	(2,671,000)	(2,229,209)	(441,791)
(入 学 卒 業 関 係 費)	(7,310,000)	(6,775,750)	(534,250)
(新 卒 者 名 簿 発 行 費)	(2,000,000)	(24,723)	(1,975,277)
組 織 費	7,678,000	9,998,019	△2,320,019
婦 人 会 員 特 別 事 業 費	675,000	427,821	247,179
広 報	27,184,000	20,136,643	7,047,357
事 業 諸 費	2,450,000	234,293	2,215,707
会 議 費	1,410,000	754,054	655,946
人 件 費	17,030,000	16,922,697	107,303
通 信 運 搬 費	1,220,000	715,519	504,481
印 刷 ・ 消 耗 品 費	4,620,000	2,785,244	1,834,756
消 耗 什 器 備 品 費	200,000	189,315	10,685
慶 弔 費	800,000	794,125	5,875
雑 費	200,000	145,030	54,970
奨 学 金 運 用 特 別 会 計 繰 出 金	5,000,000	5,000,000	0
別 途 積 立 金 支 出	20,000,000	20,000,000	0
奨 学 金 積 立 金 支 出	400,000	314,282	85,718
予 備 費	25,976,264	0	25,976,264
当 期 支 出 合 計	162,879,264	121,056,332	41,822,932
当 期 収 支 差 額	△60,559,264	△9,951,706	△50,607,558
次 期 繰 越 収 支 差 額	0	50,607,558	△50,607,558

一般会計

(単位:円)

科 目	予 算 額
1. 収入の部	
受 取 利 息	1,000,000
正 会 員 会 費 収 入	6,000,000
準 会 員 会 費 収 入	92,000,000
会 誌 広 告 料	700,000
そ の 他 収 入	500,000
当 期 収 入 合 計	100,200,000
前 期 繰 越 収 支 差 額	50,607,558
収 入 合 計	150,807,558
2. 支出の部	
大 学 主 催 事 業 協 賛 費	7,000,000
給 付 奨 学 金	8,000,000
特 別 給 付 奨 学 金	19,000,000
学 生 課 外 活 動 援 助 等 事 業 費	19,954,000
(ク ラ ブ 活 動 等 助 成 費)	(6,000,000)
(特 別 事 業 費)	(3,055,000)
(体 育 振 興 費)	(2,414,000)
(入 学 卒 業 関 係 費)	(8,485,000)
組 織 費	10,778,000
婦 人 会 員 特 別 事 業 費	663,000
広 報	28,000,000
事 業 諸 費	2,450,000
会 議 費	1,510,000
人 件 費	17,030,000
通 信 運 搬 費	1,260,000
印 刷 ・ 消 耗 品 費	4,560,000
消 耗 什 器 備 品 費	200,000
慶 弔 費	900,000
雑 費	200,000
別 途 積 立 金 支 出	7,000,000
奨 学 金 積 立 金 支 出	400,000
予 備 費	21,902,558
当 期 支 出 合 計	150,807,558
当 期 収 支 差 額	△50,607,558
次 期 繰 越 収 支 差 額	0

雑収入(寄付金内訳10,000円) 3,000円 田邊 壽男(昭31法) 富永 輝夫(昭47法) 佐々木秀人(昭54建) 1,000円 大西 正敏(昭56Ⅱ経 故人)

神奈川大学

みなとみらいエクステンションセンター (KUポートスクエア)

後期受講生募集!

ビジネス/資格取得/パソコン/語学/文化・教養など多彩な生涯学習講座を開講中

4月で開設1周年を迎えた神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター<KUポートスクエア>では、幅広い世代に向けた生涯学習講座が充実しています。ビジネスに役立つ実践講座から短期間で手軽に身に付けることができるパソコン講座、各界の著名人による連続講演会や歴史・文学・芸術・現代社会問題などを取り上げる文化・教養講座など各種公開講座を開講しています。神大生はもちろん卒業生も割引料金(一部の講座を除く)で受講できます。また、横浜キャンパスでも資格取得、文化・教養講座を開講しています。

講座ガイド(開講予定の一部です)

- **ビジネス・経営・社会・経済**
決算書の見方・活用/知的財産権/個人情報保護対策/タイムマネジメント/コーチング/企業法務/経理実務
- **資格取得**
社会保険労務士/税理士/カラーコーディネーター/Microsoft Office Specialist Word・Excel/介護事務
- **情報・語学・ライフスタイル**
はじめて学ぶ韓国語・中国語/フランス語/スペイン語/TOEIC&実践英会話/カラーセラピー/Word初級・中級/Excel初級・中級/Power Point入門/インターネット・Eメール
- **文化・教養**
アジアの中の日本を考える/日本の歴史を変えた人々/浮世絵から江戸を魅する/アインシュタインの奇蹟の年・1905年

*左記を含め約80講座を予定しています。パソコン講座は週2日、計4時間で8,000円など、全講座がお手頃な料金設定です。

KUポートスクエアでは、生涯学習・エクステンション講座の実施のほか、リーガルクリニック(無料法律相談)や各種セミナー・研究会も行われています。

【無料法律相談】 受付予約制となっております。受付時間外は留守番電話へお入れ下さい。
 ●受付専用電話番号 045-413-1143
 ●予約受付時間
 木曜 9:00~12:00
 金曜・土曜 13:00~16:00

*まずは資料をご請求ください。



お問い合わせは神奈川大学広報事業課(TEL 045-481-5661、info@ku-portsquare.jp)まで。

神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター<KUポートスクエア>

〒220-6014 横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 14階

電話 045-682-5553 http://www.ku-portsquare.jp 東急東横線直通みなとみらい線 みなとみらい駅徒歩2分

神大の歴史(22)

ある戦没卒業生 —大森 利正氏—

原治子(旧姓大森)さんから電話をいただいたのは六月のなかごろだった。横浜専門学校を卒業した弟について、何か資料がないかという問合せだった。もう少し話を聞くと、「弟は学生時代グライダー部にいて、卒業後に加藤さんの隊(加藤隼戦闘隊)にはいって:戦死した。」とのこと。この話に、*展示準備のため古本屋から取り寄せた雑誌『学徒出陣』(毎日新聞社)などで見かけた「大森利正氏」の名前を思い出し、弟さんの名前は利正さんでしょうか、と聞くとうとうその返事。

『横専学報』の記事など何点かを原さんにお送りすると、間もなく電話があり「利正が学生時代を過ごした学校を是非、訪ねたい」とお話しをされた。

はじめてお会いする原さんを校友会の応接にご案内すると、早速、持参された利正さんの写真やがき、新聞記事の切り抜きを前にひとつひとつ丁寧に説明をされた。弟が自分に「これが横専スタイルだよ」と話してくれたこと、羽田に通って飛行訓練に明け暮れていたこと、伊丹で行われた学生航空連盟の大会では多くの学生が須磨(神戸)の自宅に泊まったことなどを懐か



「これが大森利正氏の横専スタイル」

しそうに話し、「利正は学生時代が一番楽しかったのではありませんか」といった。

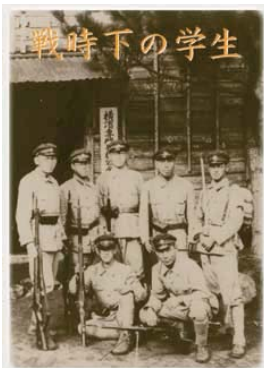
大森利正さんは、一九四〇年横浜専門学校工業経営科に入学、旧制明石中学(神戸)時代より熱中していたグライダーを操縦するため航空研究部に所属。羽田に通い操縦の腕を磨く。学生時代は全国大会に入賞するなど、横専はもとより加盟する日本学生航空連盟でもよく知られる存在となった。

一九四二年九月の繰上げ卒業から間もなくして、陸軍爆撃機操縦候補生見習士官として中部第十三部隊加藤隊(浜松市)で訓練を受けた利正さんは、一九四四年十月十四日、海軍鹿屋航空基地(鹿児島)を飛び立ち、台湾沖航空戦で帰らぬ人となった。利正さんはこのとき二十四歳。大空に憧れ、真直ぐに飛び立っていった生涯だった。

さきの戦争のなかで横浜専門学校生の多くが在学中に、あるいは繰上げ卒業後間もなく出征していった。その数は不明だが戦争の犠牲になった青年は少なからなかった。戦後六十年を経て、本学の戦没学生調査は未だ端緒に達していない。

帰り際に原さんは、キャンパスのヤマモモの熟した実をみて「ヤマモモを食べると口の周りが赤くなつてすぐにわかっちゃうのよね」と弟との幼い頃の思い出を話してくれた。

*特別展示「戦時下の学生」、図書館にて十月二十八日まで開催。



戦時下の学生